

教授 梅津 千恵子 (Chieko Umetsu)

研究シーズ

【国際関係】 【経済・経営・産業】 【環境・交通】
【社会】 【防災・暮らし】

専門

環境資源経済学/農業経済学/開発経済学/生産性分析/
レジリアンス研究

研究キーワード

コモンズと地域のレジリアンス/ 気候変動と農業生産性/
組織経営体の効率性・農村開発と資源利用/
食と栄養の安全保障/アフリカ・東南アジアの農業経済



研究テーマ

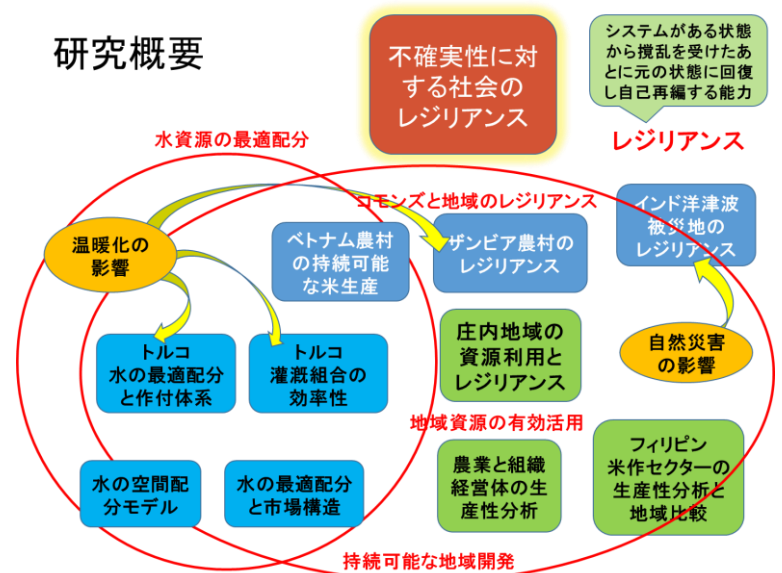
コモンズと地域のレジリアンスー環境変動下の持続可能な資源管理

研究の概要

環境資源経済学や農業経済学を基盤とし、特にアフリカや東南アジアを中心とした途上国の農村開発や気候変動が農業や地域社会に与える影響を研究しています。

社会のさまざまな組織経営体の分析を通じて農業生産性の向上や資源の効率的利用による地域社会のレジリアンス強化を目指した研究を展開しています。また、食と栄養の安全保障に関する研究も行い、持続可能な農業と地域社会の発展に貢献しています。

研究概要



セールスポイント

国際的な研究経験: ハワイ・イーストウエストセンターでの研究活動、総合地球環境学研究所での国際共同プロジェクトへの参画など、アジア、アフリカ、中東地域等、国際的なフィールドでの豊富な経験を有しています。ケニアでの青年海外協力隊経験もあります。

環境変動への対応: 気候変動が農業や食料安全保障に与える影響を研究しており、これに対応する農業経済システムの構築に関する専門知識を持っています。

地域レジリアンスの強化: 組織経営体の効率性分析による地域資源の最適管理やコモンズと地域のレジリアンスに関する研究を通じて、地域社会が外部からの変化や災害に対して強靱（レジリアント）になるための実践的なアプローチを提案できます。

想定される用途・応用例・活用例

- ・気候変動の影響を考慮した農業生産システムへの政策や食料安全保障政策の立案
- ・社会におけるさまざまな組織経営体の効率性分析と改善への提案、組織統合による効果等
- ・地域資源を活用したコミュニティの活性化や、災害に強い地域づくり、多文化共生社会の構築